

法吉小学校だより



法吉っ子

令和7年10月 文責 校長

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆音楽会練習は、ハードファン!?

毎日、校長室のすぐ上のバルコニーから、リコーダーを練習する音が聞こえてきます。聞こえ始めた頃は、音が外れたり途中で止まったりしていましたが、練習を重ねるうちに日ごとに音色が美しくなり、友だちとの息も合ってきました。まるで、ウグイスがさえずりを練習し、美しい声で歌えるようになっていく姿と重なります。



20年ほど前、アメリカから来たALTが「Hard fun (ハードファン)」という素敵な言葉を教えてくれました。これは「難しいことに挑戦するからこそ楽しい」「困難を乗り越えること自体が喜びなのだ」という意味です。子どもたちのリコーダーの練習は、まさしくその「Hard fun」を体現しているかのようです。

今、どの学年も音楽会に向けて練習に励んでいます。中には音楽が苦手な子もいるかもしれませんが、難しさを乗り越えた先にある達成感や喜びを味わってほしいと心から願っています。

いよいよ来週に迫った音楽会が、こどもたちの努力の成果が輝く舞台となることを楽しみにしています。



◆学校図書館活用教育

先日、本校の司書教諭と学校司書が、3年生を対象に「百科事典の使い方を知ろう」という授業を行いました。授業では、百科事典を引くコツとして、①「背表紙のひらがな」を見て、②調べたい事柄の頭文字が書かれた「巻」を探し、③「つめ」で見当を付けてページを開き、④「はしら」で内容を確認しながら目的の言葉にたどり着く、という手順で学びました。

近年、インターネットで手軽に検索できるため、百科事典を引く機会はめっきり減りました。その影響からか、「タブレットでは上手にまとめられていても、内容について質問すると答えに詰まってしまう」「図鑑や本で調べさせても、情報の中から必要な箇所を的確に抜き出せない」といった場面に直面することが増えたと感じています。これは、情報を読み解く力が弱まっていることの表れです。

だからこそ、今回のような授業を積み重ね、紙媒体から必要な情報を得る学びは非常に重要です。こうした学習は、情報の真偽を見極め、フェイクニュースに惑わされないための読解力を身に付けることにもつながります。これからの時代を生きる子どもたちにとって、必須の能力と言えるでしょう。



◆スリンプル・プログラム

スリンプル・プログラムとは、子どもたちが他者と温かい人間関係を築くための土台となる「かかわりの力」を育むための教育プログラムです。その名は「スリム（手軽）でシンプル（簡単）」というコンセプトを組み合わせた言葉に由来します。

当校区の教員も、このプログラムの発案者である曾山和彦氏から直接指導を受け、その理念と手法を日々の教育実践に取り入れています。

例えば、代表的な活動に「アドジャン」があります。これはジャンケンをきっかけに、決められたお題に沿って互いに自己紹介をし合うもので、話す楽しさだけでなく、うなずきながら相手の話を真剣に聴く「傾聴の姿勢」も自然と身につきます。週に1回わずか10分間、ペアやグループで心を通わせる活動を積み重ねることで、子どもたちの「自尊感情」と、社会で必要とされる「ソーシャルスキル」を無理なく高める貴重な時間となっています。

本校では、このプログラムの導入にあたり、「かかわりの力を伸ばそう」「自分や友だちのことをよく知ろう」「授業中の対話につなげよう」という3つの目標を掲げ、子どもたちの成長を支援しています。



◆ありがとうございました、環境整備作業

10月6日(日)は、お忙しい中、多くの保護者の皆様に環境整備作業にお越しいただき、誠にありがとうございました。今回は天候を考慮し、作業内容をトイレ掃除と窓拭きに限定させていただきましたが、皆様の熱心なご協力のおかげで、トイレも窓も大変きれいになりました。こどもたちも、きれいになった環境で気持ちよく過ごせることと思います。



◆ボランティアさんのお陰です

本校の学びは、読み聞かせや家庭科サポート、町探検サポート、作物づくりといった多岐にわたる活動において、多くのボランティアの皆様のお陰でより豊かなものとなっております。こどもたちが落ち着いて質の高い学びができるよう温かく支えてくださり、心より感謝申し上げます。



ほうきどり

お礼 校庭芝生の管理、登下校の見守り等々、保護者や地域の皆様からたくさんのご支援・ご協力をいただいております。ありがとうございます。

電話:0852-21-4354 FAX:0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp